

【FdData 中間期末：中学理科2年：日本の天気】

【台風】

[問題](1 学期中間)

台風は何という低気圧が発達してできたものか。

[解答]熱帯低気圧

[解説]

[台風]

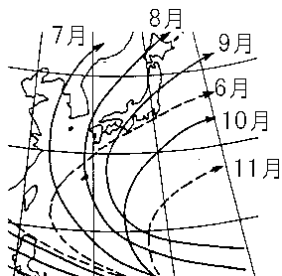
熱帯低気圧が発達→台風

偏西風の影響で東へ

上昇気流, 積乱雲

ねったいていきあつ
熱帯低気圧は熱帯地方に発生する低気圧で、前線^{ぜんせん}
を伴わない。熱帯低気圧が発達して中心付近の最大風速が 17.2m/秒以上になったものを台風^{たいふう}
という。

台風は、はじめ西へ移動するが、しだいに北上し、日本付近では、偏西風^{へんせいふう}の影響で東に進路を変える。台風は日本の北の



方向へ移動していくにつれてその勢力を小さくしていくが、それは、海面の温度が低くなり上昇気流が弱くなるからである。

台風を中心付近では激しい^{じょうしょうきりゅう}上昇気流が生じるので、^{せきらんうん}積乱雲などが発達し激しい雨が降る。夏の台風は^{おがさわらきだん}小笠原気団におかれて、そのまわりを大回りに進むので大陸や日本海を通ることが多いが、秋になると小笠原気団の勢力が弱まるために、日本の南岸を通るようになる。

[問題](補充問題)

次の各問いに答えよ。

- (1) 台風は日本の南方海上で発生するが、台風が発達する前の段階の低気圧を何というか。
- (2) 台風を中心付近で生じているのは、上昇気流か、下降気流か。
- (3) 台風の広い範囲にわたって、垂直に発達する雲は何か。
- (4) 台風は前線を伴うか。
- (5) 台風が日本付近で進路を東よりに変えるのは、何という風の影響を受けるためか。
- (6) 夏は大陸や日本海を通ることが多かった台風が、秋になると日本の南岸を通るようになるのはなぜか。

[解答](1) 熱帯低気圧 (2) 上昇気流 (3) 積乱雲
(4) 伴わない。 (5) 偏西風 (6) 小笠原気団の勢力が弱まるから。

[問題](2 学期実力)

次の各問いに答えよ。

- (1) 熱帯地方で発生し、前線をともなっていない低気圧を何低気圧というか。
- (2) 台風は日本の北の方向へ移動していくにつれてその勢力を小さくしていくが、なぜそうなるのか、理由を書け。

[解答](1) 熱帯低気圧 (2) 海面の温度が低くなり上昇気流が弱くなるから。

◆理科2年の各ファイルへのリンク

<http://www.fdttext.com/dp/r2t/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdttext.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdttext.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」で開いてリンクをタップください。

【Fd教材開発】 Mail : info2@fdtext.com